

議 事 録【サマリー】

作成日：平成 17 年 9 月 16 日（金）

作成者：那波幸光（ITCA）

会議名称	IT 経営教科書作成委員会 第 1 回「IT 経営教科書作成委員会普及推進ワーキング」	
開催日時	平成 17 年 9 月 16 日（金） 14：00～16：00	
開催場所	経済産業省 本館 17 階 東 5 第 4 共用会議室	
出席者 (敬称略)	委員長	川内 晟宏（プロセス経営研究所代表／IT コーディネータ）
	委員	秋本 則政（マイクロソフト株式会社 事業推進部担当部長） 加藤 篤志（全国中小企業団体中央会 情報部長）・・・【欠席】 合田 誠司（日本電気株式会社パートナービジネス営業事業本部 シニアエキスパート）・・・【欠席】 高田 和哉（キャノン販売株式会社 IT サービス事業推進部課長） 田部 貴夫（中小企業金融公庫 経営情報部経営情報課長） 水谷 亮介（株式会社大塚商会 エリアシステム部門部長） 矢吹 一真（株式会社広島銀行法人営業部金融サービス室シニアマネージャー） (五十音順)
	経済産業省	野口 正（商務情報政策局 情報化人材室 室長） 青田 優子（商務情報政策局 情報処理振興課） 柴田 広志（商務情報政策局 情報処理振興課）
	中小企業庁	柿町 宜孝（中小企業庁 経営支援部技術課）
	IPA	石井 一字（独立行政法人情報処理推進機構 IT 経営応援隊事務局）
	ITCA	下田 邦典（特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会 専務理事）

議事進行	松下 正夫（特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会 事務局）	
配布資料	資料 1	IT 経営応援隊 IT 経営教科書作成委員会 第 1 回 IT 経営教科書作成委員会普及推進ワーキング議事次第
	資料 2	IT 経営教科書作成委員会普及推進ワーキング 委員名簿
	資料 3	座席表
	資料 4	IT 経営応援隊事業と IT 経営教科書について
	資料 5	教科書作成委員会普及推進ワーキングの役割と活動内容
	参考資料 1	IT 経営のススメ（パンフレット）
	参考資料 2	これだけは知っておきたい IT 経営 2005 年 β 版（IT 経営教科書）
	参考資料 3	IT 経営支援マニュアル（支援者向け冊子）

議 事 録【サマリー】

■■議事サマリー

(開会：14:00)

1. 委員長挨拶 (川内委員長)

- 本ワーキングでは、平成16年度の成果物であるIT経営教科書β版、IT経営支援マニュアルβ版、パンフレット(以下、教科書類)を、いろいろな形で中小企業の支援をされている中小企業支援機関、金融機関、ITベンダーの委員の方々と有効な活用方法を一緒になって考えながら普及活用促進のための方策の検討及び評価・改善をしていきたい。

1. IT経営応援隊事業について (野口室長)

- IT経営応援隊事業について資料に沿った趣旨説明があった。

2. IT経営教科書について (川内委員長)

- IT経営教科書の活用方法を委員の方々が考える上で、既にITコーディネータを中心に各地域の応援隊事業として展開されているセミナー、経営者研修会、IT経営成熟度診断といった事例紹介と、中小企業へのIT経営応援隊の支援フレームワークの説明を通じて、IT経営教科書の狙い等について資料に沿った説明があった。

3. 各委員の自己紹介

- 実質的な議論の場にするために、委員の方々からそれぞれのお立場で行ってきた中小企業への支援活動などについて紹介があった。

4. IT経営教科書の活用についてのご意見

<全体論>

- ITベンダー、金融機関、中小企業支援機関等それぞれの立場の違うことから、教科書類の活用方法も異なると思われるので、これまでの経験を下に自社で利用するとすればどういう活用方法があるかを委員の方々に考えてもらいたい。
- IT経営応援隊のホームページで、教科書類の電子データがダウンロードできるようになっているがそこまで入り込むことは難しい。またIT経営教科書は相当程度意識が進んだ経営者しか見ていただけないと思われる。
- 金融機関としての教科書類の活用場面としては、お客様とお話をする場面と、行員等への教育の場面との両面が考えられる。
- IT経営教科書を、β版から正式版にする際に専門ライターに協力してもらい、読みやすくするということまでやったほうがいいのかどうかも検討しないといけない。
- 成熟度診断ツールなどは、業界で同じレベルの共通の物差しとして活用が進めば説得力があって有難い。
- 事例集は、中小企業の経営者は地域の同業他社の動きに関心があるので、業種毎の事例が更に充実するともっとよいと思う。また事例として肝となるところが一目でわかり、かつ目を引くような図柄がある1頁のものがあれば良いだろう。

<中小企業へのアプローチの仕方について>

- 既に何らかのIT化に取り組んでいる経営者と、全くIT化を知らない(0クリア)の経営者へのアプローチ方法は異なると思うので、それぞれの「気づき」に対してのアプローチ方法を考える必要がある。

議 事 録【サマリー】

<セミナーでの活用について>

- 多くの IT 関連のセミナーは集客の幅が広いいため、IT 化の成熟度が低い方や高い方が全部来てしまい、結果的にお客様の満足度が得られないケースが良くある。
- メーカーとしてイベントをやると、経営者の方が売り込まれるのではないかと感じてしまうという「売り込まれる壁」も存在する。
- IT 経営の普及活動は、メーカーにとっては難しい取り組みだが、セミナー型のスタイルで中小企業の経営者に気づきを持っていただく資料として IT 経営教科書はヒントになる。過去にセミナーで、成熟度診断ツールをアンケートとしてやった際に、経営者が真剣にご記入いただいたおかげで先に繋がったという事例もある。

5. 普及推進ワーキングの役割と活動内容について （事務局）

- 3つの教科書類の普及活用促進のための方策の検討及び評価・改善などをワーキングの役割として確認した。
- 活動内容は、本ワーキングの委員がそれぞれの活動展開の中で効果がありそうな教科書類の活用方法などを企画して、お互いに情報交換を行いながらその実施と報告をしていただく方向で進める。
- ITSSP の反省として、セミナーやイベントをやった後、その後に繋がらない事例も多いので、次のステップに移ったかどうかを効果評価にする。
- 今年度のワーキング委員会は原案通り 4 回実施する。
- 活動していくにあたっての必要な支援は事務局に相談し、随時進めていくこととする。
- 次回は委員各社が計画した教科書活用案を発表していただく。

6. 次回日程

2005 年 10 月 19 日（水）14:00～16:00
経済産業省

（閉会：16:00）

以 上